

教科	自立活動	単元名	朝のさわやかチェック・3ヒントゲーム
----	------	-----	--------------------

## 本時のねらい

- ・朝のチェックを行うことを通して、自分の朝の習慣を見直す。
- ・グループの児童たちと協力することを通して、コミュニケーション力を養う。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・1 人 1 台タブレット端末 (iPad) を用いて、それぞれの朝の習慣について自身と向き合わせる。
- ・画面を共有することで、他の児童と自分の違いや共通点を考えさせる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・Google スプレッドシート
- ・授業支援ソフト (ミライシード)
- ・電子黒板
- ・デジタルホワイトボード (Jamboard)

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が自分の朝の習慣を思い出し、朝のさわやかチェックを行う。点検 5 項目の「はい」「いいえ」どちらかに色を付ける。</li> <li>○スプレッドシートの記入が終わったら、スクリーンショットで画像にした後、Jamboard に送る。</li> <li>○電子黒板に映し出されたチェック表を見て気付いたことをグループで交流する。</li> <li>○グループで話し合った内容をグループの代表が発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員が送ったスプレッドシートの新しいページを開き、一人ひとりが朝のさわやかチェックを打ち込む。</li> <li>・点検 5 項目については、電子黒板に映し出したときに、わかりやすいように色を付ける。</li> <li>・グループで困っている児童がいたら、高学年の児童が教えるように促す。</li> </ul>
展開 (20分)	<p><b>3ヒントクイズに取り組む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ヒントごとにグループ内で話し合いながら答えを一つに絞る。</li> <li>・教員が出すヒントを聞いて想像を膨らませ、グループで話し合う。</li> <li>・各グループの代表児童がミライシードのワークシートに答えを打ち込み、全員で共有する。</li> <li>○各グループの答えを電子黒板で確認し、正解を考えるヒントにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が聞く準備ができていないかを確認し、ヒントを発表する。</li> <li>3ヒント「果物です」「値段が高いです」「あみあみがあります」</li> <li>・交流した内容をグループの代表が打ち込み、各グループの答えを電子黒板で共有する。</li> <li>・代表 (高学年) がミライシードを使っている様子を見て、同じグループの低学年、中学年の児童に使い方を学ばせる。</li> <li>・各グループが出した答えの中に正解があるかどうかを知らせることによって正解を導き出すモチベーションを高める。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jamboard の付箋機能を用いて、本時の振り返りを書く。(グループの高学年の児童が、低学年の児童へ使い方を教える。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jamboard の付箋機能を使い、自分自身の学びを振り返る。また、ほかの児童の振り返りを見て考えを深めさせる。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1 :朝のさわやかチェックを入力している場面



写真 2 :Jamboard に個人のシートを映し出し、交流している場面

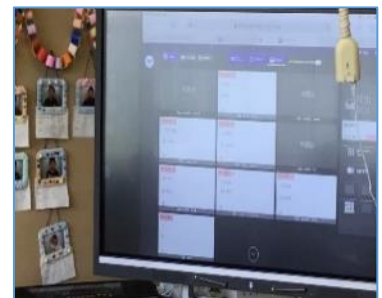


写真 3 :ヒントクイズで、各グループの答えを映し出している場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・紙ベースで行っている「朝のさわやかチェック表」を iPad を用いて取り組むことで、好きな色でチェックができ、楽しく興味をもって活動できるようになった。
- ・電子黒板に全員のシートを映し出すことによって、いつもは個々の作業で終わっていたものが、他の人のシートと見比べたり、交流したりすることができた。
- ・チェックシートに入力するだけでなく、スクリーンショットや Jamboard に送るなどの多様な作業も入っているが、低学年でも定着させることができた。
- ・低学年の児童が操作に困っている時には、高学年の児童がやさしく教える場面も見られ、つながりを深めることができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

「朝のさわやかチェック表」では、Jamboard に全員の個人シートを貼り付け、電子黒板に映し出すことによって、全体で交流することができた。3ヒントクイズを行う際、ミライシードを使うことによって、他のグループの答えがすぐに共有でき、ゴールに向けた活動が活発になった。